

和牛産肉能力直接検定成績

比嘉直志 金城寛信 千葉好夫*

I 緒 言

当場では、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、1994年5月から'95年4月までに検定を終了した牛の成績について取りまとめたので報告する。

II 検定牛及び検定方法

検定牛の概要を表-1に示した。検定牛（種雄牛候補）は、肉用牛群改良基地育成事業により認定された雌牛から、計画交配により生産され、産子調査により選定された13頭の雄子牛であった。

父牛別の内訳は、晴姫の息牛4頭、北国7の8の息牛3頭、安波土井の息牛3頭、紋次郎の息牛2頭および中部6の息牛1頭であった。生産地別頭数は石垣市6頭、伊江村4頭、平良市2頭および今帰仁村1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法¹⁾（直接法）により実施した。直接法とは、7から8カ月齢の雄子牛を単房式牛舎にて112日間飼養し、飼料給与方法については、濃厚飼料を朝夕2回時間制限給餌、粗飼料は乾草を不断給餌とし、その間の増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表-1 検定牛の概要

No.	名 号	生年月日	血 統				生産地
			父	母	母方祖父	母方祖母	
1	喜英土井	'93 5. 10	安波土井	ふくきた3の1	紋次郎	岩牡丹	今帰仁村
2	幸 6	'93 5. 16	晴 姫	て る こ	北国7の3	糸 錦 2	石垣市
3	安 原	'93 6. 17	安波土井	な か は ら	第7糸桜	第4直良7	石垣市
4	文 姫	'93 6. 20	晴 姫	ふ み ざ く ら	糸 富 士	第7糸桜	石垣市
5	国 旗	'93 7. 2	北国7の8	は た ん だ 4	照 姫 3	第7糸桜	石垣市
6	文次郎	'93 8. 22	紋次郎	い と け ん	賢 晴	第7糸桜	石垣市
7	剛 茂	'93 8. 21	紋次郎	け ん じ	安波土井	糸 富 士	伊江村
8	北 姫	'93 9. 13	北国7の8	ゆ め こ	晴 姫	富 士 晴	平良市
9	北 栄	'93 10. 5	北国7の8	あ け み	富 士 晴	安波土井	平良市
10	梅 姫	'93 11. 26	晴 姫	や す ひ め	安波土井	北国7の3	伊江村
11	慎 吾	'94 2. 7	中 部 6	ひ め し げ	晴 姫	糸 茂	伊江村
12	名代留	'94 3. 30	安波土井	い と な よ る	糸 富 士	第7糸桜	石垣市
13	松 姫	'94 4. 20	晴 姫	ま つ し げ	糸 晴	第20平茂	伊江村

* 現沖縄県乳用牛育成センター

Ⅲ 検定成績

検定成績は、表-2および表-3に示すとおりであった。各調査項目の平均値は、開始時日齢235日、開始時体重263.2kg、終了時体重393.8kg、180日補正体重212.0kg、365日補正体重414.3kg、DG1.17kg、粗飼料摂取率43%、各飼料要求率（濃厚飼料3.92、粗飼料2.95、DCP0.53、TDN4.01）、体型評点82.9であった。

DGについては、北姫1.54kg、松姫1.29kg、梅姫1.22kgおよび名代留1.21kgの4頭が優れていた。

365日補正体重については、慎吾459.0kg、梅姫452.7kgおよび松姫432.7kgの3頭が優れていた。

飼料要求率（TDN）については、北姫の2.93が最も優れ、最も劣っていたのは文次郎の4.80であった。

13頭の平均値を1993年度（平成5年度）の全国平均値²⁾と比較すると、DGと365日補正体重は劣っていたが、飼料要求率（DCP、TDN）は優れていた。

表-2 検定成績

No	名号	開始日齢	体 重 (kg)				D G (kg)
			開始時	終了時	180日補正	365日補正	
1	喜英土井	246	260.5	386.0	212.8	393.9	1.13
2	幸 6	240	286.7	413.5	223.0	428.2	1.13
3	安 原	208	240.0	368.5	212.0	420.1	1.15
4	文 姫	205	228.3	358.5	203.9	414.3	1.16
5	国 旗	249	262.0	385.0	197.4	389.4	1.10
6	文次郎	254	272.0	391.0	201.8	389.9	1.06
7	剛 茂	255	282.0	408.0	208.2	405.8	1.13
8	北 姫	232	221.0	393.5	192.2	425.8	1.54
9	北 栄	210	232.0	335.0	209.1	374.5	0.92
10	梅 姫	214	268.0	405.0	232.2	452.7	1.22
11	慎 吾	253	332.0	459.0	247.2	459.0	1.13
12	名代留	258	270.0	405.0	197.4	399.0	1.21
13	松 姫	237	267.0	412.0	218.2	432.7	1.29
平均値		235	263.2	393.8	212.0	414.3	1.17
標準偏差		19	28.2	29.0	14.7	24.3	0.14
全国平均値		—	—	—	—	424.1	1.20

注) 全国平均値は1993年度（411頭）の平均値

表-3 検定成績

No. 名 号	粗飼料 摂取率 (%)	飼料要求率 (kg)				体 型 評 点
		濃 飼	粗 飼	DCP	TDN	
1 喜英土井	45	3.77	3.13	0.52	3.97	82.3
2 幸 6	43	4.43	3.40	0.60	4.55	83.5
3 安 原	46	3.33	2.82	0.46	3.53	82.8
4 文 姫	43	3.72	2.83	0.50	3.81	82.9
5 国 旗	41	4.45	3.12	0.59	4.45	82.6
6 文次郎	40	4.84	3.28	0.64	4.80	83.2
7 剛 茂	43	4.20	3.16	0.57	4.29	83.7
8 北 姫	42	2.90	2.10	0.39	2.93	83.1
9 北 栄	41	3.95	2.77	0.53	3.96	82.0
10 梅 姫	43	3.67	2.80	0.50	3.77	83.7
11 慎 吾	44	4.25	3.29	0.58	4.38	82.6
12 名代留	43	4.09	3.09	0.55	4.18	82.5
13 松 姫	43	3.40	2.55	0.46	3.47	82.2
平均 値	43	3.92	2.95	0.53	4.01	82.9
標 準 偏 差	2	0.51	0.34	0.07	0.49	0.5
全 国 平 均 値	—	—	—	0.59	4.52	—

注) 全国平均値は1993年度(411頭)の平均値

なお、これらの検定牛の中から選抜基準³⁾(DG 1.20以上または365日補正体重430kg以上)に基づき間接検定候補牛として、北姫、梅姫、慎吾、名代留および松姫の5頭を選抜した。また、選抜基準には達していないが母牛の育種価(脂肪交雑)が優れている文次郎および田尻系の組み合わせである剛茂についても間接検定候補牛として選抜した。

IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会、1993、和牛登録事務必携
- 2) 社団法人全国和牛登録協会、1994、和牛種雄牛産肉能力検定成績
- 3) 沖縄県農林水産部、1988、沖縄県肉用牛群改良基地育成事業実施細則

検定補助：照屋 剛